

【兵庫県 香美町】校務DX計画

1. はじめに

『GIGAスクール構想』として、「1人1台端末」と学校における高速通信ネットワークを整備し、Society5.0 時代を生きる子供たちに相応しい、全ての子供たちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指している。

本町においても、令和3年度より小・中学校児童生徒へ端末の貸与を実施し、感染症等の緊急時でも家庭等で学びを継続できる体制を整えた。

運用にあたっては、児童生徒の目の健康に配慮し、長時間の継続した利用を避けつつ、「確かな学力」の育成を目指し、情報活用能力の育成を推進するため令和4年度より全ての小中学校に1～2教科のデジタル教科書を導入し、学びの推進を図っている。

また、学習者用デジタル教科書と併せて、ドリル等の使用、動画の表示や、音声を繰り返し聞くことができるデジタル教材を組み合わせ、児童生徒の学習がより充実し深いものになるよう、学習者用デジタル教科書等の機能を効果的に活用している。

指導目的によっては、紙の教科書より見やすく理解しやすいものとなるが、指導にあたる教員もICT環境を活かした指導能力が求められるため、計画的な研修等を行い職員能力の向上に取組み、児童生徒個々へ最適な学習環境の提供を目指す。

※（香美町デジタル・トランスフォーメーション(DX)計画「1-③教育情報化の推進」より引用

2. 現状

1) 授業でのタブレット活用状況の認識が、教員と児童生徒で大きく隔たりがある。

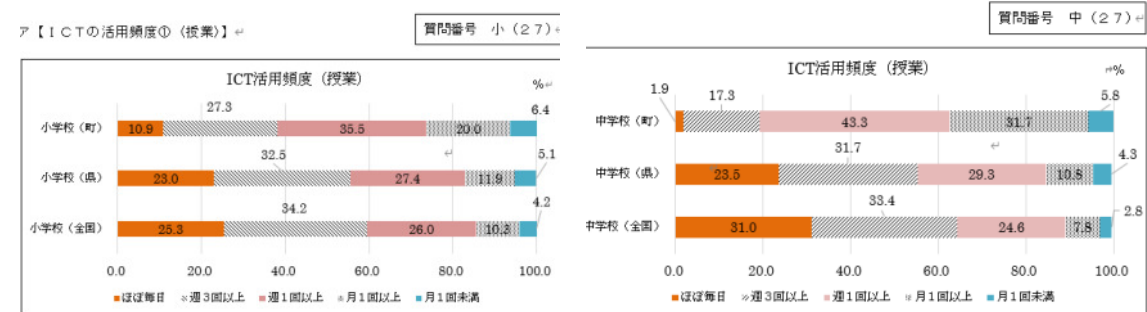
カ. ICT機器の活用状況について

質問番号	質問事項				
小(56)、中(60)	あなたの学校では、前年度までに、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか。				
	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満
小学校	4校	2校	2校	0校	0校
中学校	1校	2校	0校	0校	0校

(令和6年度 学力学習状況調査 学校質問)

上表で見るとおり、教員は、ICT機器の活用状況について、小学校ではほぼ毎日使用しているが8校中4校と、機器の活用がされていると認識している。中学校でも1校はほぼ毎日、2校は週3回以上と活用していると回答している。

しかし、児童生徒に授業での活用頻度を調査した結果、小学校でほぼ毎日と答えた児童は10.9%、中学校では1.9%と国、県に比べて活用していると感じている率が非常に低い結果となっている。



(令和6年度 学力学習状況調査 児童生徒質問)

ただ、別の質問においては、タブレットなどのICT機器の活用満足度は、年々、上回ってきており、香美町DX計画に掲げたKPIの数値目標は達成できる見込み。

今後も、児童生徒個々へ最適な学習環境の提供を目指していく。

KPI	全国学力・学習状況調査の満足度向上(児童生徒のICT機器活用)
数値目標	満足度75%以上の達成
達成時期	令和7年度末

全国学力・学習状況調査						
問) 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか						
役に立つと回答した結果						
	結果	結果	結果	結果	⇒目標	
	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	
小学校	72.6%	73.3%	96.8%	82.6%	77.6%	
中学校	64.5%	69.2%	92.1%	81.6%	73.3%	
平均	68.5%	71.2%	94.4%	82.0%	75.4%	

3. 今後の計画(今後の取組)

(1)校務系ネットワーク・学習系ネットワークの整備

「校務系と学習系のネットワーク統合」、「校務システムのクラウド化」といった国の示した方向性を踏まえ、各システムの更新時期に併せた再構築を検討する。

(2)教育情報セキュリティポリシーの改訂

新たな教育ネットワークの整備を実現するにあたり、教職員一人ひとりに合った柔軟かつ安全な働き方が可能になることを見込んでおり、そのためには教育情報セキュリティポリシーの改訂が必要となる

4. 校務 DX スケジュール

- ・令和3年 4月 校務支援システムの稼働
- ・令和4年 4月 備品管理システムの導入
- ・令和7年12月 児童生徒用タブレット導入
- ・令和8年 3月 児童生徒用タブレット稼働
- ・令和8年 8月 教師用コンピュータ導入
- ・令和8年12月 教師用コンピュータ稼働、クラウド化、職員室の生徒系環境整備